

令和6年度 1年次生 学びのプラン

教科名	芸術	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	1年次			
科目名	音楽Ⅰ	履修	必履修(選択)	開講	通年			
教科書	Tutti+	副教材	リコーダー					
1 学習の目標								
音楽の成り立ち(構造)や作曲された背景を知り、それらがどのような音楽的雰囲気を出しているのかを探求します。そして、それらの学習をもとに、自分なりの表現意図をもったり、楽曲の良さや美しさを味わって聴く事の出来る能力を伸ばします。								
2 学習の方法								
①共通事項 学習する内容は大きく分けて、歌唱・リコーダー・箏・作曲(編曲)・鑑賞の5つになりますが、いずれも、扱う楽曲の成り立ちを考えたり、作曲された背景を理解しながら、楽曲の醸し出す雰囲気を感じ取る学習をベースにして下記のような学習を行います。								
②歌唱・器楽・箏 その曲の良さや美しさ、特徴を生かすためにはどう表現したら良いかを考え、自分なりの表現意図をワークシートにまとめ表現方法を考えたり、それに必要な基本的な技術を学習します。								
③鑑賞 その楽曲の良さや美しさ、特徴を理解しながら味わって聴くことができるようにします。また、それらを言葉で表現したり、文章化して他の人との意見交流を図る活動も行います。								
④作曲(編曲) 自分の表したいイメージをはっきりさせ、どのように音楽の要素を組み合わせれば良いのかを考えながら作曲(編曲)します。曲はクラスの中で発表し合います。								
3 評価について								
①評価の観点								
知識・技能	①音楽の成り立ちや文化的・歴史的背景と曲の特徴の関わり、表現方法、音楽様式、伝承方法の多様性、各種用語や記号などについて音楽表現上の働きと関わらせて理解しているか。 ②表現意図を実現するための技能を身につけているか。							
思考・判断・表現	音楽を成り立たせる要素やその働きを理解し、その楽曲の曲想を生かすための表現意図を持ったり、知識を得たり活用したりして楽曲を自分なりに解釈し、良さや美しさを味わい、音楽的な価値を見いだしている。							
主体的に学習に取り組む態度	音楽の学習に主体的に取り組もうとしている。							
②評価の方法								
観点	材料	定期 考査	課題 テスト	単元 テスト	課題	ワーク シート	グループ ワーク	評価方法
知識・技能				○		○	○	実技試験やワークシート、グループワークの状況から次の基準で評価する。A→極めて高い到達状況。B→概ね満足できる状況。C→努力を要する状況。
思考・判断・表現				○		○	○	実技試験やワークシート、グループワークの状況から次の基準で評価する。A→極めて高い到達状況。B→概ね満足できる状況。C→努力を要する状況。
主体的に学習に取り組む態度				○		○	○	実技試験やワークシート、グループワークの状況から次の基準で評価する。A→極めて高い到達状況。B→概ね満足できる状況。C→努力を要する状況。
4 その他								

5 単元の目標・評価										
科目名	音楽 I			のびのび歌おう						
単元の目標	校歌や興味・関心の高い歌唱曲をのびのびとおおらかに歌うことができる。校歌の成立の背景や歌詞の意味について理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	①校歌の歴史的背景や歌詞の意味について理解している。②身体を解放させ無理なく自然に歌唱することができている。			校歌や歌唱曲の特徴(曲想)を感じ取り、それらを生かす表現意図を持っている。			曲想を感じ取ったり、曲想を生かして歌唱する学習に意欲的、主体的に取り組んでいる。			

科目名	音楽Ⅰ	単元名	表現への思いや意図を持ち、響きのある声で歌おう							
単元の目標	イタリア歌曲「カーロ・ミオ・ベン」を、曲想を生かした表現と、豊かな響きで歌うことができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	①作曲された背景、歌詞の表す心情・情景、曲を成立させる音楽要素と曲想の関わりを理解しているか。②豊かな響きで歌うための、呼吸法、共鳴法などの基礎的技能を身につけている。			楽曲を成り立たせている音楽要素と曲想の関わりを感じ取りながら、曲想を生かすための自分なりの表現意図を持っている。			自らの表現意図を持ったり、響きのある歌唱をするための学習に意欲的・主体的に取り組んでいる。			

科目名	音楽Ⅰ	単元名	表現への思いや意図を持ち、表現豊かに演奏しよう							
単元の目標	①リコーダー「間奏曲」を、曲想を生かした表現で演奏することができる。②原曲を鑑賞し、演奏の特徴や楽曲の良さや美しさを味わいながら鑑賞することができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	①楽曲成立の背景や音楽構造と曲想との関わりについて理解している。②曲想を生かした表現をするために必要なタンギング、呼吸法等の基礎的な技術を習得している。			楽曲を成り立たせている音楽要素と曲想の関わりを感じながら曲想を生かす表現意図を持ったり、曲の良さ・美しさ・価値について理解しながら鑑賞している。			曲想を生かした表現をしたり、良さや美しさを味わって鑑賞する学習に意欲的・主体的に取り組んでいる。			

科目名	音楽Ⅰ	単元名	ミュージカルの楽しみ「サウンド・オブ・ミュージック」							
単元の目標	ミュージカルにおける音楽の果たす役割や効果について理解しながら鑑賞する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	作品成立の歴史的・社会的背景について理解している。			①劇中の各曲の音楽要素の特徴と曲想の関わりを、ストーリーとの関連で考え、その効果について理解しながら鑑賞している。②作品の音楽的、社会的な価値について考えることができる。			ミュージカルにおける音楽の効果や本ミュージカルの社会的、音楽的価値について考える学習に意欲的・主体的に取り組んでいる。			

科目名	音楽Ⅰ	単元名	箏で作曲に挑戦							
単元の目標	箏曲「さくら」の曲想に合うイントロ(前奏)を作曲し、発表することができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	①箏の歴史的背景、人々の生活との関わりについて理解している。②箏の様々な奏法について習得している。			自らのイメージや「さくら」のメロディーに合うイントロになるために、各奏法や強弱、旋律などを適切に組み合わせている。			自らのイメージを表現するイントロ作りの学習に主体的・意欲的に取り組んでいる。			

科目名	音楽Ⅰ	単元名	地域に伝わる伝統音楽を体験しよう。							
単元の目標	帯広に伝わる唯一の伝承歌「帯広地方の子守歌(赤い山・青い山・白い山)」の成立の背景や地域の人々の生活などとの関連を理解し、思いや意図を持って歌唱する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	①曲の背景、歌詞の心情・情景、各音楽要素と曲想の関わりや歌詞の抑揚と旋律の関わりを理解している。②語感を生かす歌唱に必要なレガート唱法、子音と母音の共鳴法等を習得している。			楽曲を成り立たせている音楽要素と曲想の関わり、日本語の抑揚と歌詞の関わりを感じ取りながら、曲想を生かすための自分なりの表現意図を持っている。			楽曲を成り立たせている音楽要素と曲想の関わり、日本語の抑揚と歌詞の関わりを感じ取りながら、曲想を生かすための自分なりの表現意図を持っている。			

6		年間計画					
学期	月	単元		項目	予定時数	考査	
前期	4	●音楽基礎能力調査 ●のびのび歌おう	●校歌		5	前期中間考査	
	5	●表現への思いや意図を持ち、響きある声で歌おう。(歌唱) ●思いや意図を持ち、表現豊かに演奏しよう。(リコーダー)	●カーロ・ミオ・ベン ●間奏曲		15		
	6						
	7						
	8	●地域に伝わる伝統音楽を体験しよう。	●帯広地方の子守歌「赤い山 青い山 白い山」		15	夏季課題テスト・前期期末考査・後期中間考査	
9							
10			5				
後期	11	●箏で作曲に挑戦	●「さくらさくら」のイントロを作曲し、発表をしよう。		20		冬季課題テスト・後期期末考査
	12						
	1	●鑑賞①「ミュージカルの楽しみ」 ●鑑賞②作曲家の生涯「モーツァルト」	●サウンドオブミュージック ●「アマデウス」		10		
	2						
	3						